

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わたぼうし		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2024年 12月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 12月1 日		～ 2024年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムの設定をしている	<ul style="list-style-type: none"> 各曜日の子ども達に合わせた活動プログラムを設定するようにしている。 個別活動、集団活動を発達段階に合わせ、適宜組み合わせで実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は更に子ども達のアセスメントを深め、曜日に合った活動プログラムの実施を目指していく。
2	部屋が複数あるため、子ども達の活動に合わせた空間を作りやすい	<ul style="list-style-type: none"> 個々のスキルに応じて、個別課題の設定を実施している。 静かな環境で集中出来るよう、課題に取り組む部屋は集団で過ごす部屋と離れた位置に設定している。 休憩室を設定し、疲れた時やクールダウンしたい時に使えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の曜日に合わせた環境設定を行っていく。 整理整頓、構造化を進め子ども達が安心して過ごせる施設を目指します。
3	子ども達が安心感を持ち、楽しみに通所できる場所だと評価していただいている	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が自分で考えた事ややりたい事を実現できるイベントや機会を設定している。 . 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の様子を保護者の方と共有し、ご本人様や保護者の方が安心して通える事業所にしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子ども達との交流する機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で完結する活動が多くなっていた。 個別活動の機会が増え、集団の土台となるスキルに焦点を当てた支援が中心になり、外部との交流が少なくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びや普段の遊び等を通じて、地域の子供たちと交流する機会の設定を増やしていきます。
2	支援プログラムと実際の支援内容との相違や専門性のある支援が十分に提供できていない	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の体制が変わった事で、活動内容や支援方針にも変化がみられる。職員が更に知識を深める必要がある。 今行っている支援内容や必要性を保護者の方に伝えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、児童の現在の状況や支援が合っているか、今後の支援方針、その子が持つストレス等話し合う機会を設定します。また、研修の参加を通じて職員の支援力向上に努めていきます。
3	安全計画やマニュアル等、必要な情報が十分に周知できていない	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画や運営規定等は見える場所へ掲示しているが、それについての周知が出来ていなかった。 . 	<ul style="list-style-type: none"> 通信やメール等を活用し、保護者の方に分かる方法で周知していきます。